

3 「よりよい授業を目指して」(教員用リーフレット) 富山県教育委員会 平成 26 年3月
(第4章 1 「授業の創造」に関連)

授業を構想する

- 1 単元(題材)の目標(ねらい)や児童生徒の実態を踏まえて、身に付けさせたい力を明確にする
- 2 目標を達成するために、教材研究を行う
- 3 単元(題材)を通した指導計画・評価計画を立てる
 - ・ 指導内容や指導方法等の検討を行う
 - ・ 指導計画のもと、授業の学習活動や発問等を考える



導入

- 1 学習課題を確認させる
- 2 学習の見通しをもたせる

- 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を明示
- 学習課題の確実な意識化



ここがポイント! 【学習課題の設定】

- ・ 興味・関心を高める
「やってみたい」「考えてみたい」(必要感)
- ・ 既習事項とのずれを生じさせる
「あれっ?」(驚き・不思議さ)
- ・ 明快に分かりやすく提示する



ここがポイント! 【学習課題の意識化】

- ・ 何をどのように学ぶか見通しをもたせる
- ・ 具体物や映像、音声等を活用する
※ ICT 機器の活用
- ・ 日常生活と結び付ける
- ・ 矛盾や疑問が生じる発問で揺さぶる

Check

▼学習課題を板書するだけで終わっていませんか?

▼構造化した板書例

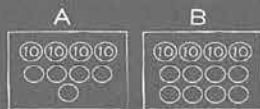
問題 うさぎ小屋AとBでは、どちらが
こんでいるでしょう。

	面積(m ²)	数(ひき)
うさぎ小屋A	6	9
うさぎ小屋B	5	8

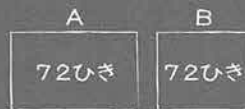
学習課題 面積も数も違ううさぎ小屋のこみぐあいの比べ方を考えよう

思考の
過程

◆面積を30m²にそろえる
A $30 \div 6 = 5$
 $9 \times 5 = 45$ (ひき)
B $30 \div 5 = 6$
 $8 \times 6 = 48$ (ひき)



◆数を72ひきにそろえる
A $72 \div 9 = 8$
 $6 \times 8 = 48$ (m²)
B $72 \div 8 = 9$
 $5 \times 9 = 45$ (m²)



まとめ

面積または数を
そろえると比べ
ることができる。

考え

同じ面積では、数の多い
方がこんでいる。

同じうさぎの数では、面積
のせまい方がこんでいる。

児童生徒の思考の軌跡が分かる板書に

単元(本時)の活動内容及び留意点

展開

3 自分の考えをもたせる

- 学習内容や活動の方法、手順などの確認
- 体験的な活動から疑問・発見を引き出し、課題意識を高める授業展開の工夫
- 具体物の提示
- 考えを論理的にまとめるノート指導やワークシートの工夫



ここがポイント！
【ノート指導】

- ・自分の考えの軌跡、成長の記録となるようにする
- ・図や記号等も活用して、考えや調べたこと、感想等を分かりやすく整理させる
- ・記述された内容から考えのよさや努力を捉え、朱書きで励ましの言葉や助言を添える

4 自分の考えを深めさせる

- 関わり合いを生む発問の工夫
- 人間関係を大切にしたい話合いの約束づくり
- 目的に応じた学習形態の工夫（全体・グループ・ペア等）



ここがポイント！
【発問】

- ・言葉を精選し、簡潔に平易な言葉で問う
- ・方向性や意味が明確な問いにする
- ・一人一人の思考に深まりや広がりが見られるような問いにする



ここがポイント！
【話合い】

- ・話し合う目的や見通しをもたせる
- ・児童生徒の考えの共通点や相違点等を整理する
- ・話合いを広げたり深めたりするための手がかりを示す

Check

- ▼児童生徒の書いたり、考えたりする時間を奪っていませんか？（説明し過ぎる）
- ▼ペアやグループにただで満足していませんか？
- ▼話合いのねらいは明確ですか？

まとめ

5 学習したことを振り返らせる

- 振り返りの場の計画的な設定
- 目標の達成状況の確認
- 次時への課題の意識化



ここがポイント！【まとめ】

- ・作問をさせたり、類似問題等に取り組ませたりする
- ・「分かったこと」「できたこと」「友達から学んだこと」を自分の言葉で書かせる
- ・達成状況を踏まえ、個別指導、補充指導等を行う

Check

- ▼導入・展開に時間をかけ過ぎて、振り返りの時間が十分に取れないことはありませんか？
- ▼「おもしろかった」「楽しかった」等の感想だけで終わっていませんか？

「見通し」と「振り返り」

各教科等の指導に当たっては、児童（生徒）が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫すること（学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」）

※現行の学習指導要領では、「教育課程の実施と学習評価」に記載

授 業 チェ ッ ク シ ー ト

- 自分の授業を振り返り、工夫・改善に努めましょう
 ○ チェック内容は、必要に応じて新たに設けたり、絞ったりしましょう

過程	項目	No.	チェック内容	チェック ◎○△×
構想	ねらい	①	ねらいや児童生徒に身に付けさせたい力が明確であったか	
		教材	②	児童生徒の実態を踏まえた教材であったか
	③		学習意欲を喚起する教材であったか	
	学習過程		④	児童生徒の思考過程を見通した単元構想や授業展開になっていたか
		⑤	内容の系統性や既習事項との関連を図った過程となっていたか	
		⑥	問題解決的な学習過程になっていたか	
導入	既習事項	⑦	前時までの学習内容が理解されていたか	
	学習課題	⑧	ねらいを達成するために学習課題は適切であったか	
		⑨	学習課題をしっかりと提示し、何をどのように学ぶか見通しをもたせていたか	
展開	発問	⑩	多様な考えを引き出す適切な発問であったか	
	学習活動	⑪	体験的な活動や問題解決的な学習を行ったか	
	説明・指示	⑫	簡潔で、分かりやすく適切であったか	
	指名	⑬	児童生徒の実態や目的に応じた意図的指名を行ったか	
	資料	⑭	興味・関心や疑問をもつような資料を効果的に活用したか	
	板書	⑮	思考を助け、1時間の学習内容を構造的に示すものであったか	
	思考	⑯	一人一人が考えをもつことができるよう時間を確保したか	
		⑰	書くことによって思考を深める手立てがあったか	
		⑱	ノート等を活用する指導を適切に行ったか	
	ICTの活用	⑲	I C Tは、効果的に使用されていたか	
	学習形態	⑳	目的に応じて効果的に工夫したか	
	協働	㉑	児童生徒同士の協働を通じ、思考を交流させる活動を行ったか	
		㉒	友達との関わりの中で、考えが深まる話し合い活動を行ったか	
	机間指導	㉓	児童生徒の実態把握や個に応じた支援を行ったか	
評価	㉔	評価規準や評価方法は適切であったか		
終末	振り返り	㉕	評価規準を基に一人一人の学習状況を把握することができたか	
		㉖	一人一人が学習の成果を確認できる場を設定したか	
		㉗	児童生徒が自分の変容に気付く振り返りの場になっていたか	